

阪神淡路大震災以降の 近畿の活断層研究

有馬一高槻断層帯のトレンチ断面
写真提供: 吉岡敏和 (産業技術総合研究所)

1995年兵庫県南部地震(M7.3)は死者6400名を越す未曾有の大災害を発生させたが、これは六甲・淡路島断層帯の活動によるものであった。この地震を引き起こした既知の活断層(野島断層)が淡路島北西側沿いに鮮明な断層変位を出現させ、活断層調査の必要性を広く認識させた。これを契機に政府内に地震調査研究推進本部が設立されるとともに、基盤的調査観測の活断層として98本(後に110本に追加)が選定され、これらを中心に各種の詳細な活断層調査が実施されてきた。10数年にわたる調査・研究の成果を総合的に取りまとめて、各活断層(帯)の位置や形状、活動履歴や長期的な発生時期の評価、地震規模、強震動の予測なども公表されてきた。その後も補完的な調査も実施されてきているが、近畿地域における主要活断層の調査研究の成果や残された問題点について紹介する。

日時：5月10日(日) 午後1時30分～3時30分 (受付は午後0時30分から)

講師：岡田 篤正 氏 (京都大学名誉教授・立命館大学客員研究員)

会場：大阪市立自然史博物館 講堂

定員：250名(当日先着順、事前申込不要。受付は午後0時30分から会場前にて)

参加費：無料(ただし自然史博物館本館の入館料が必要)

所在地：〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 電話 06-6697-6221 FAX 06-6697-6225

開館時間：午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

入館料：大人 300 円、高大生 200 円、中学生以下無料。障がい者手帳等をお持ちの方、大阪市内在住の 65 歳以上の方(要証明)は無料。

交通：地下鉄御堂筋線「長居」駅 1 号・3 号出口東へ約 800m。 JR 阪和線「長居」駅東出口 東へ約 1000m。

ホームページ <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

自然史博物館

検索